

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：ウィズブック保育園青木町	種別：認可保育所	
代表者氏名：塩川麻美	定員（利用人数）： 60 名	
所在地：横浜市神奈川区青木町3-20		
TEL：050-1741-1332	ホームページ： <a href="https://wb-hoikuen.jp/tokyo/aokicho">https://wb-hoikuen.jp/tokyo/aokicho</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2021年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アイ・エス・シー		
職員数	常勤職員： 17 名 非常勤職員 2 名	
専門職員	管理栄養士 1 名 栄養士 2 名	
	看護師 1 名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室 6	子どもトイレ 2か所
	遊戯室 0	大人トイレ 3か所
	更衣室 1	園庭 有( ) 無( <input checked="" type="checkbox"/> )
	事務室 1	その他
	調乳室 1	

② 理念・基本方針

その子らしさと自ら伸びるチカラを育む。子育てに頑張る保護者様や家族の成長に寄り添い支援する存在である。

③ 施設・事業所の特徴的な取組

オリジナル絵本（ウィズブックプログラム）の読み聞かせから広がる体験活動。子育て学講座の受講。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月11日（契約日） ～ 2023年11月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（ 年度）

⑥ 総評

◇ 特長や今後期待される点

〇 本社のオリジナル絵本を用いた「ウィズブック活動」で、子どもたちが絵本の世界を楽しみながら、子どもたちの活動にもつながっています  
園では、「ウィズブックプログラム」と呼ばれるオリジナル絵本を中心とした取り組みに力を入れておこなっています。オリジナル絵本には、年齢や成長、言葉の理解度などに合わせて、内容や色遣い、形や登場人物などに変化をつけて描かれており、どの年齢の子どもたちも集中して楽しめる絵本になっています。毎日の絵本の読み聞かせは、その日の活動への導入にもなっており、そこからさまざまな体験活動につながっています。また、英語教育にも力を入れており、2歳児から5歳児は、英語版の才

オリジナル絵本を用いた「ウィズブックプログラム」にも取り組んでいます。

○園では保育者の言葉かけを何よりも大切にしています

ウィズブックプログラムでは、子どもたちの興味関心・発達に合わせてつくられたオリジナル絵本で「想像力」、「言語理解力」を高めています。絵本に出てくる「もの・こと・ことば」から、ウィズブック保育園では子どもと接するときの、保育者の言葉かけを何よりも大切にしています。保育ガイドラインには、言葉かけについて明記されており、職員は共通認識のもと保育に努めています。年度初めの職員会議で保育ガイドラインの読み合わせをして共通意識のもと保育に努めています。保育について、職員同士で話し合う時間を多く持っており、一人の子どもを色々な角度や視点から言葉かけを意識しています。

○中・長期計画の職員への周知が望まれます

法人理念、保育理念の実現に向けた基本方針は明示しており、事業の方向性は本社の園長会議で示しています。中・長期計画は、組織体制・人材育成等の経営課題や問題点を明らかにし、その改善策など取り組むべき課題を職員に伝え、共に改善に向けた取り組みに期待します。

○地域の商店や子育て支援施設との連携に加え、今後はコロナ禍で交流が難しかった地域との連携が深まることに期待します

園では、園見学を随時実施しているほか、子育て支援として保育体験や栄養士からの講座などをおこなうウィズブック体験会を定期的に行っています。また、地域のカフェやレストランとの地域交流もおこなっていますが、コロナ禍の影響もあり限定的となっています。今後は、地域の方々と園がつながる機会を設け、より多くの地域資源の活用によって、地域との関わりが深まることに期待します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

○C評価だったボランティア・実習生の受け入れについては、コロナ禍だったこともあり開園から実践できていなかった。まずは園の広報からはじめ受け入れの体制、受け入れマニュアルなどを作成し、計画していきたい。

○B評価の中長期計画については園だけでなく本部との連携を取り、園周辺の地域性や経営課題など分析していき、何が課題なのかを明確にしていきたい。

○利用者満足の向上については、行事や保育についての保護者の声をきくことが出来ていなかったため、アンケートなどを実施し保護者の満足度を把握できるようにしていきたい。

また運営委員会で出た意見なども参考にし、改善できるところは進んで取り組んでいきたい。

○保育に関しては、言葉かけを意識し、子どものその子らしさを認める保育を大切にしている。さらに良くするために、職員同士が保育について積極的に話し合える機会を作り、共通意識をもって楽しく保育が出来るようにしていきたいと思う。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり